

令和7年5月15日
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 中央普及支援センター 病害虫防除室 直通：257-6972
--

令和7年度病害虫発生予報第2号について

今後 発生が予想される水稻、麦類、大豆、果樹、野菜の病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 5月下旬～6月中旬

2 予報内容

(1) 水 稻

葉いもちの発生は**やや多**と予想される。本田に放置された補植苗は伝染源となるので、直ちに除去する。箱施薬していない場合は6月中旬に予防粒剤を散布する。発生を認めた場合は初期の防除を徹底する。

イネミズゾウムシの発生は**多**と予想される。箱施薬していないほ場では田植え後のほ場巡回に努め、1株当たりの成虫数が0.3頭以上認められたら直ちに防除する。

(2) 大 豆

茎疫病の発生は**やや多**と予想される。発芽直後の過湿条件は発生を助長するので、排水対策を徹底する。

ネキリムシ類の発生は**やや多**と予想される。は種時の防除を徹底する。

(3) 果 樹

ナシ黒星病の発生は**やや多**と予想される。降雨前の薬剤防除を徹底する。

ナシ黒斑病及び**リンゴ斑点落葉病**の発生は**やや多**と予想される。薬剤耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

カキ炭疽病の発生は**やや多**と予想される。感染しやすい徒長枝および不定芽を除去する。降雨前後の薬剤防除を徹底する。

アブラムシ類の発生は**多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハマキムシ類の発生は**多**と予想される。発生初期の防除を徹底する。

カメムシ類の発生は**多**と予想される。発生を認めた場合は直ちに防除する。

アザミウマ類の発生は**やや多**と予想される。発生初期の防除を徹底する。

シンクイムシ類の発生は**やや多**と予想される。被害を受けた新梢を直ちに摘除し、土中深

くに埋設する。

(5) 野 菜・花 き

スイカつる枯病及び**スイカ炭疽病**の発生は**やや多**と予想される。ほ場排水に努めるとともに、トンネル除去時及び発病初期の防除を徹底する。

スイカ褐斑細菌病の発生は**やや多**と予想される。ほ場排水に努めるとともに、発病初期の防除を徹底する。

オオタバコガの発生は**多**と予想される。発生初期の防除を徹底する。

コナガ、**アブラムシ類**及び**コナジラミ類**の発生は**多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

アザミウマ類及び**ハモグリバエ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ネキリムシ類の発生は**やや多**と予想される。は種時の防除を徹底する。

※病虫害防除実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。

また、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。